



特定非営利活動法人POTA POTA 就労支援事業部 ニュースレター

ぽ
た

7月相談コーナーの報告

楽しいブルーベリーの摘み取りと障害者雇用の話

日時: 7月31日(土)午後

場所: 小平・ベンズファームにて

参加者 9名。



「お腹すいたなあ。」少しの味見はOKだそうです

当日は、曇天で蒸し暑さはあっても多少しのぎやすく幸運でした。早くから足を運んでいた人はランチを頂き、もうブルーベリーと花畑の空気を吸っていました。まず、スタッフの小野さんの体験談を伺いました。素敵なお話をニュースに載せられたらと思い、お願いすると、すぐに気持ちよくその原稿を頂くことができました。

その後、ブルーベリーの摘み取り。ブルーベリーは可愛く、甘酸っぱく、ひとつ一つ選んで、つまんで容器に集め、童心に帰る一時を味わうことができました。感想でも聞かれましたが、収穫とは原始的な感覚を呼び起こさせるもののようです。畑は気持ちよく、心も開放的にされました。訓練から雇用に結びついたというスタッフの皆さんの明るく熱心に働く姿にも、さすががしさと楽しさが増されたようです。収穫後、新しく参加して下さった方もいらして、自己紹介・近況報告や感想等、交流の時間を持ちました。

たわわになるブルーベリー



オーナーのご厚意で、体験談をさらに詳しく伺い、質問にも快く答えて頂き、理解を深めることができました。人混みや人との関わりが苦手接客の仕事は避けていた

が、オーナーの勧めや援助から、今では喫茶で人とのつながりが大切に思えて、笑顔で働くことに努めていると話して下さいました。休みの日には、デイケアや外来受診で職場以外の拠り所も持っているとのことでした。

魅力あるオーナーのお話からも「1年かけて季節を体で知ってもらおう」「時間をかけてゆっくり体を慣らしてもらおう」「ほんの少し無理をして欲しい」「歯車のひとつであるという責任と自覚もってもらおう」といった思いと働きかけが実感をもって伝わってきました。さらには農業についても様々な実状を伺うことができました。半日にも満たない時でしたが、楽しい体験と多くのことを得られた豊かな時間を過ごすことができました。「ベンズファーム」には感謝致します。

(馬場)

美味しそうな果実を発見!



「ベンズファームで、7年間働いて」

ベンズファーム・スタッフ 小野 貴之 氏にお話をさせていただきました！

超美味しいフレッシュジュースには隠し味が！

こんにちは。今日は、暑い中お集まりいただきありがとうございます。ございます。

スタッフの小野と申します。あだ名は、ズラクリピンポンです（笑）。

それでは、自分の経験談を少しお話させていただきます。自分は、ベンズファームで、障害をかかえながら、社会適応訓練事業（注）という東京都の制度を経て正式に雇用になり、約7年間働いて参りました。その中で感じたことは、仕事とは、もちろんその分収入を得られる喜びもありますが、それだけではなく自分を成長させ、新しい様々な出会いがあり、興味の対象や考え方を、どんどん広げることが出来るものということです。仕事には、現場感覚が不可欠ですのでこんな時代ですが、とりあえずやってみるという事も、大事ではないかと思えます。そしてその中で困難もありますが、それを乗り越えたときには、さらにパワーアップした自分があると信じ、やっていくことが大切だと思えます。



私の経験談ですが、最初は接客をした経験もなく“いらっしゃいませ”“ありがとうございます”さえも、ぎこちなく感じてきちんとと言えないところから始まりました。“自分が気にしているほど、お客さんは気にしていないよ”と励まされ、しばらくやっていくうちに、うまく言えるようになりました。また、ブルーベリーの摘み取りの日に忙しく力尽きてしまい、途中で「帰れ」と言われてしまった時は、不覚にも悔しくて街中で泣いてしまいました。そのくやしさをバネにし、“落ちたら後は、はい上がるだけだ、やるしかない！！”と思いつち直り、開き直りました。そこにはプライドや責任感もありましたし、また、まわりの人達の助けもありました。

また、広い意味でとらえますと、仕事は、自分もそうですが、病気と闘うことも立派な仕事だと思えます。その人なりの働き方、また、働ける幸せが、あるのではないかとと思えます。あとは、どういう人に出会うか、如何に出会いを大切にするかも重要だと思えます。オーナーはじめメンバーなどたくさんの人々に恵まれ感謝したいと思います。皆さんも僕もそうですが、気楽に何でもチャレンジしていきましょう！

“倒れたら起きろ”というシンプルなことを、7年間働き、そしてオーナーとお付き合いさせていただきました。それを忘れなければ何でもできると思えます。

それでは、最後に一言！ 「ただ今彼女募集中です～(笑)」

（注）精神障害者社会適応訓練事業

都道府県が、精神障害者の社会復帰の促進及び社会経済活動への参加の促進を図るために行う事業。理解のある協力事業主に委託して、職業を与えるとともに、社会生活への適応のために必要な訓練を行い、社会的自立を促す事業。1クール6ヶ月、最高3年間、事業主には委託料が支給される。各都道府県により条件が異なり訓練対象者への手当支給の有無や支給額も異なる。東京都では1日1100円の訓練手当が支給される。

9月の相談コーナーのお知らせ

9月相談コーナーのご案内

9月の相談コーナーは練馬駅近くのステーキ&ハンバーグレストラン「オリーブ」にて行います。「オリーブ」は障害者就労移行支援事業所として、今年6月1日に開店したばかりのレストランです。

開店まもない新しい店内で、日々の近況などを語らう時間を持つことができればと思います。また、当日はお店の方から実際にお話を伺う時間もとる予定となっています。

レストランということで、飲食することはもちろん、飲み物のみの喫茶としての利用も可能とのこと。食事・お茶を楽しみながらひとときを過ごしてゆきましょう。

日程 : 9月18日(土)

時間 : 12:30 - 14:30

場所 : ステーキ&ハンバーグレストラン「オリーブ」

練馬区練馬1-26-6 tel.03-5999-3701

○メニュー例(飲食費は各自自己負担していただきます。)

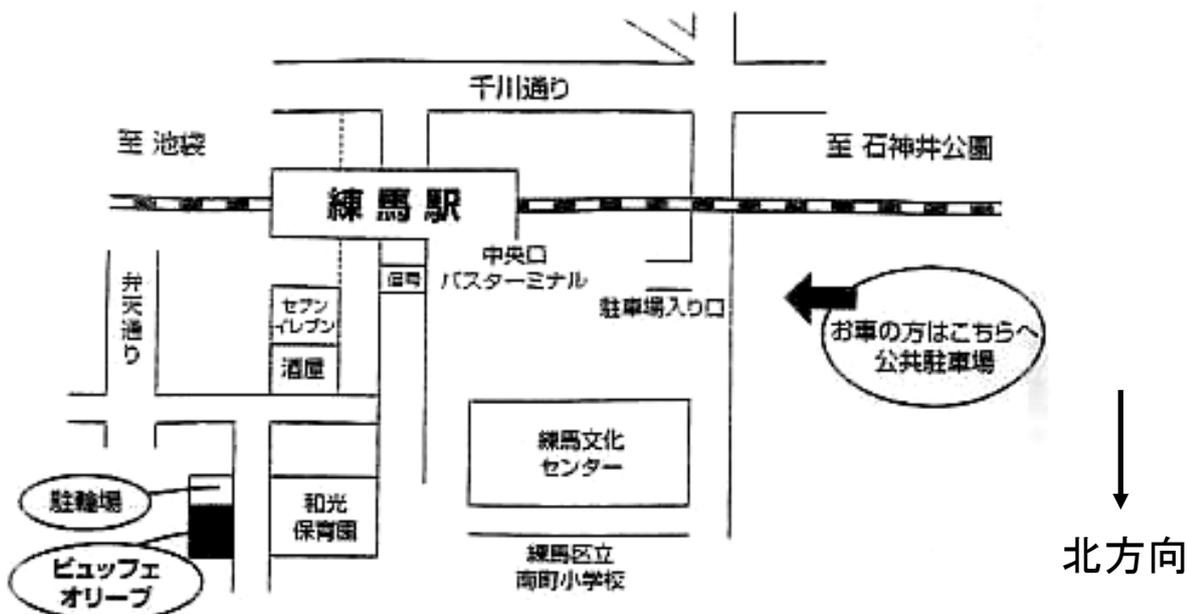
ステーキセット ¥1200

ハンバーグセット ¥980

コーヒー、紅茶、コーラ、ジンジャエール ¥300

オレンジジュース、ウーロン茶 ¥280

map(西武池袋線練馬駅北口から徒歩数分。なお、この地図は↓方向が北となっています。)



POTAへのメール

→ 皆さんへ

※いつも相談コーナーに参加されている宮本さんからメールをいただきました。宮本さんからのメールはいつも多くのことを考えさせられます。皆さんにもお読みいただきたいということで、掲載させていただきました（編集部）。

先日、岐阜から修学旅行で新宿に来た、中学生とホームレス支援をしている『新宿連絡会』のみんなと一緒に、夜回りパトロールに行ってきた。

『貧困問題』を通して、『繋がり』や『命』の大切さを考えるという研修旅行だそうで、午前中は何班かに分かれて、生活困窮者を支援している団体、『反貧困ネットワーク』や『もやい』などに見学に行ったりしたそうです。

この研修旅行の背景には、昨今の不況で収入減や不安定雇用を余儀なくされている生徒の保護者もあり、そうした状況を感じ取った先生が、いじめ問題にもつながる『心』の在り方も、生の現実の中で考えてみようと思案したそうです。

その先生は、関係組織や施設をネットなどで調べ、自らも足を運んで受け入れを交渉。159人の生徒が班別に、20ヶ所を訪ねる段取りを整えたそうです。

出発前に生徒達は、ホームレス問題を取り上げたDVDを見るなどして学習も重ねており、夜回りの時に渡そうという事で、郷土菓子の『からすみ』を手作りして持って来ていたりして、意気込みを感じました。

中学生との夜回りパトロールは、私にとって、とても勉強になりました。普段『新宿連絡会』でのパトロールでは、ゆっくり野宿のおじさん達と、話すという事はありません。話すとしても、「体調はいかがですか」とか「炊き出しは食べましたか」という会話です。

でも、今回のパトロールは『コミュニケーション』を重視しようという事で行きました。

私は、中学生の3人の女の子と回りました。

最初は緊張していて、なかなか話せなかった彼女達。そんな彼女達の姿を見て、一人の野宿をしているおじさんが、「どうして、ここに居るのか、聞いてくれよ。」と質問しやすい雰囲気を作ってくれて、一気にその場が和みました。彼女達も、この言葉のおかげで、時間が経つにつれて、積極的におじさん達に質問したりして、おじさん達も、彼女達の問い掛けに対して一生懸命答えてくれていて、何だか嬉しそう、いいな～と思いました。

あるおじさんは「俺達は、朝日新聞、毎日新聞、NHKの取材なんかには答えない。でも、君達の質問だったら、いくらでも答えるよ。」と生徒さん達に言っていたそうです。

子供の力って凄いな～と思います。

彼女達の持っている純粋さや感受性の豊かさが、そのおじさん達にも伝わったのだと思います。

私も、彼女達の存在に助けられ、彼女達がいたから、質問できた事もありました。感謝です。

こんな感じで、活動をしているのですが、その度に戸惑ったり、動揺したりしている私です。

でも今は、こういう体験の中で、いろいろな事を、自分なりに感じて行きたいと思っています。（宮本）

情報アラカルト

リカバリー全国フォーラム2010が開催されます！

■ 会期 2010年9月10日（金）～11日（土）

■ 会場 文京学院大学・本郷キャンパス <東京都文京区>

〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1

（東京メトロ南北線・東大前駅・2番出口・徒歩0分）

☆記念講演：、コーブランドセンター理事長：M・E・コーブランド（元気行動回復プラン・WRAPの考案者）

☆実際に「リカバリー」を体験した方々のトークライブもあり。

■ 事務局：特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構（コンボ） <担当：桶谷・秋山>

〒272-0031 千葉県市川市平田3-5-1 トノックスビル2F TEL: 047-320-3870 / FAX: 047-320-3871

URL: <http://comhbo.net>



手と手、心と心をつなぐPOTAは精神科作業療法に関わる

全ての方に幸せを届けます

特定非営利活動法人POTA 就労支援事業部 <http://www.npota.com/>